

令和7年1月16日「地域福祉推進会議」議事要録		
開催日時	令和7年1月16日（木）午前10時00分から午前12時00分まで	
開催場所	奈良市役所北棟2階202会議室	
議題	地域福祉推進会議	
出席者	委員	作間委員、安井委員、木村委員、田中委員、松村委員、今西委員、塩山委員、若野委員、山下委員、安藤委員、福本委員、中川委員、 【委員17名中12名出席】
	事務局	【福祉部】福祉部長、福祉部次長、福祉部参事 福祉政策課長 障がい福祉課長 他 【奈良市社会福祉協議会】2名
開催形態	公開（傍聴0名）	
担当課	福祉部福祉政策課	
<b>議事の内容</b>		
1 開会 2 議題 (1) 第4次奈良市地域福祉計画について (2) 奈良市総合福祉センターについて		
〔質疑・意見の要旨〕		
<b>（見守り支援の安心・安全なら見守りネットワーク事業の課題について）</b> 認知症の方が市を超えて広域に移動する場合の見守りサポート、行方不明者の早期発見できる仕組み、コンビニなどの事業者と連携した見守り体制構築、ネットワーク事業に事前登録するための家族の同意をいかに得るかが課題である。		
<b>（・相談支援について）</b> 相談するハードルをいかに低くできるかが大切である。フードバンク事業のように関係性を作ってから相談支援につなげる方法が効果的と考える。例えばAI相談のようなもので、相談者のハードルを下げ、相談者のキーワードを活用し、支援が必要な方には支援者側から、アプローチできる仕組みの検討を希望する。		
<b>（・参加支援について）</b> 奈良市が市民の困りごとに対して支援を行うにあたり、企業が持っている強みを生かした協力体制できるようなプラットフォームの検討を希望する。例えば、豊田市のユニバーサルデザイン構想では、子供からお年寄りの方々までを支援するような仕組みを産業界も入って作っている。そこで様々な対話をしてマッチングが自然とできる仕組みがある。		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者側としては、相談窓口に来てほしいが、相談者が窓口になかなか来てもらえないことが課題。事前に相談者と関係性を作ることができると、その相談者に合わせた支援につながる事が可能ではないかと考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係性作りのきっかけになるような行政の事業、地域行事を継続していくことが大切である。</li> </ul>
<p><b>(ボランティアセンターの居場所「みなば」について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みなば」に、継続して足を運んでくださる方が増えないこと、市民の方に「みなば」の認知度を上げていくことが課題である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談、支援、活動の拠点の効果的な組み合わせ、専門職の配置、住民主体の取組みの推進をいかに進めるかが課題である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で支援が必要な方を見つけることが難しい。支援を受けることが恥ずかしいと感じる方もいる。支援が必要な方を見つけた後の支援体制はある程度整っている。</li> </ul>
<p><b>(福祉避難所について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所の数をデータで明示してほしい。</li> <li>・避難行動要支援者名簿の方について自治会長、民生委員が情報共有、意思疎通をきちんとできるかが大切になる。</li> <li>・避難行動要支援者の対象外ではあるが、要配慮の方である場合の避難方法についても整理が必要である。</li> <li>・福祉避難所の訓練など、体験は気づきを与えてくれるが、災害が起きた場合に日常生活を取り戻すことも必要で、福祉教育のようなものを、みんなで一緒に考えていく必要がある。</li> <li>・地域自治の力をつけていくことが大切になる。</li> <li>・福祉避難所の運営マニュアルが今年度中に完成予定と聞き、非常にありがたく思っている。運営マニュアル完成後の公表方法などを知りたい。</li> </ul> <p>(福祉政策課回答)・運営マニュアル策定にあたっては、各施設の立地条件であったり、建物の構造であったりとか、それぞれ各施設で準備いただく必要がある。奈良市としては、各施設がマニュアル策定するためのガイドラインを準備している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面の災害支援からソフト面への議論に進んでいる。</li> <li>・次回の会議で、福祉分野は数値評価できない部分もあるが、評価の指標の一つとして工夫してもらい、数値評価も示してほしい。</li> </ul>
<p><b>(総合福祉センターについて)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理の人員配置について、新たな事業を実施できるような人材確保を求める。</li> <li>・指定管理者の人員が不足しないように委託料の確保を求める。</li> </ul>

**(成年後見人制度について)**

・成年後見が始まったときは、比較的金銭に余裕のある方の財産管理という側面が大きかったが、今は身寄りがない、お金がないケースも増えてきている。困難案件に対応するために助成事業などを引き続き市に要望していく。

**(地域福祉推進会議について)**

・地域福祉の推進にあたり、奈良市内での福祉ニーズ、それに対しての達成度などの全体像が見えにくい。経営視点を持った合理的な意思決定に影響を与えられる有効的な施策みたいなものを、意見を重ね合わせていけるようなものっていうものが多分本来でき得ると感じた。

**【まとめ】**

・指定管理期間を長期（10年）にするということを評価し、本会議では、長期契約による計画的な人材育成や経費削減が可能となるこの案で了解したい。

・地域福祉推進会議の役割としては、奈良市の地域福祉政策として住民の参加協力をどうやっていくのか。そのために、行政や社協がどのような道筋をつくっていくのかを客観的に検証しながら進めていく必要がある。